

一般質問

・津波対策としての水門・防潮堤建設について  
・人口減少・少子化対策について



鈴木克己

問

南海トラフ巨大地震の発生確率が高まっています。御前崎市における津波に対する認識、それを踏まえて、新野川河口から掛川市境までの防潮堤建設と箴川、新野川の水門建設の計画はあるのか

答

静岡県第4次地震被害想定では、本市は最大津波高が19m、平均津波高は12m、人的被害は最大で死者数2千人、重軽傷者数約80人、建物被害は全壊約5百棟、半壊約2百棟となっています。防潮堤の整備に関しては、沿岸部の地形や内陸部の土地利用状況から堤防幅が確保できない箇所があり、堤防整備ができないことや、膨大な建設コストがかかることから、当面の間は命を守るソフト対策の充実を図りますが、今後も継続して検討してまいります。防潮堤水門に関しては対策案をと考えています。

問

御前崎市の人口減少率は、県内トップクラスです。自



新野川河口

東日本大震災津波被害状況

然減少に加え社会減少によるダブルパンチの人口減少が顕著です。昨年度転入者県下ナンバーワンの焼津市は、転入者増加の理由として「子育て施策の成功」と「災害に強いまちづくりの達成」を強調しています。御前崎市の人口減少・少子化対策について伺う

**答** 本市は「第2期御前崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少・少子化対策に取り組んでいるところであります。人口の社会増減改善のための対策については、景気が回復傾向にあるため、新野地区の工業用地候補地への用地取得として、令和5年度当初予算に計上させていただき、働く場所の確保に努めてまいります。

一般質問

・東海～南海トラフ地震について  
・浜岡原発再稼働問題について



齋藤 洋

問

市内の一般家庭家屋の新耐震基準クリア率については令和4年1月1日現在で、70・17%です。

答

駿河湾沿岸地域住民に対する「高台移転希望アンケート」については

答

令和2年度に住民アンケートを実施した1991世帯中39世帯が、高台移転を考えているとの結果でした。

問

3・11東日本大震災時、福島第一原発で記録した震度ほどの程度か。また、東海～南海トラフ地震で、浜岡原発で想定されている最大震度は

答

福島第一原発は、震度6強が観測されました。浜岡原発は、震度7が想定されています。震度6強と、震度7の差は、どの程度か

答

震度6強では、耐震性の低い木造建物は、傾いたり倒れたりします。震度7では、鉄筋コンクリートの建物でも、耐震性が低ければ倒れてしまいます。

問

原発事故時の住民避難計画については、定例会で昨年2名の議員、一昨年1名の議員が冬季の避難計画に疑問を表明しました。その後、修正は実施されたか

答

国・県などの関係機関と協議中のため、計画の修正にはまだ至っていません。

問

浜岡原発は、海側に港がない日本で唯一の原発のため、福島第一原発事故の教訓で、遠州灘に原発敷地を取り囲む防波堤建設が必要と考えるが、市長の考えは

答

仮定の話については、お答えを控えさせていただきます。

問

昨年7月に東京電力(株)に対する株主代表訴訟の一审判决が下されたが、その判決について、市長はどのように考えているか

答

個別の訴訟に対するものではないので、お答えは控えさせていただきます。